

(講座) 臨床薬学
(氏名) 西田孝洋

(研究室) 薬剤学
(職名) 准教授

【研究テーマ】

1. 臓器表面からの薬物吸収を利用した新規投与形態に基づく DDS の開発
2. 薬物の臓器内特定部位への移行の速度論的解析および標的指向化の製剤設計
3. 局所における薬物相互作用を利用した新規 DDS の開拓
4. 腹腔内臓器からの薬物吸収性を考慮したモデルに基づく全身体内動態の再構築
5. 薬物療法の個別化を目指した、病態時や相互作用による薬物体内動態の変動予測
6. ICT を活用した e ラーニングシステムによる授業改善

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. J. Nakamura, S. Fumoto, K. Ariyoshi, Y. Kodama, J. Nishi, M. Nakashima, H. Sasaki, K. Nishida: Unilateral lung-selective gene transfer following the administration of naked plasmid DNA onto the pulmonary pleural surface in mice, *Biol. Pharm. Bull.*, **30**: 729-732 (2007). (IF 1.522)
2. J. Nakamura, S. Fumoto, R. Kawanami, Y. Kodama, J. Nishi, M. Nakashima, H. Sasaki, K. Nishida: Spleen-selective gene transfer following the administration of naked plasmid DNA onto the spleen surface in mice, *Biol. Pharm. Bull.*, **30**: 941-945 (2007). (IF 1.522)
3. S. Fumoto, Y. Nakashima, K. Nishida, Y. Kodama, J. Nishi, M. Nakashima, H. Sasaki, N. Otsuka, J. Nakamura: Evaluation of enhanced peritoneum permeability in methylglyoxal-treated rats as a diagnostic method for peritoneal damage, *Pharm. Res.*, **24**: 1891-1896 (2007). (IF 2.848)
4. K. Nishida, M. Okazaki, R. Sakamoto, N. Inaoka, H. Miyake, S. Fumoto, J. Nakamura, M. Nakashima, H. Sasaki, M. Kakumoto, T. Sakaeda: Change in pharmacokinetics of model compounds with different elimination processes in rats during hypothermia, *Biol. Pharm. Bull.*, **30**: 1763-1767 (2007). (IF 1.522)

B 邦文

(B-b) 総説

1. 西田孝洋: 薬物送達システムにおける放出制御と生体材料, *生体材料*, 55 (3): 36-40 (2007).

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. ○西田孝洋: レポート課題の作成支援を意識した情報教育コンテンツの開発, 日本薬学会第 127 年会, 講演要旨集 4, 30P1-am049, p. 199, 富山 (2007).
2. ○手嶋無限, 柏木香, 麓伸太郎, 西田孝洋, 中村純三, 中嶋幹郎, 藤秀人, 一川暢宏, 佐々木均: リポソーム膜修飾による prednisolone 血中動態制御の試み, 日本薬学会第 127 年会, 講演要旨集 3, 29P1-am282, p. 124, 富山 (2007).
3. ○中嶋幹郎, 山下千恵, 大脇裕一, 西田孝洋, 中村純三, 田代浩幸, 川原利春, 永田修一, 中村博: 後発医薬品の利用促進に対する処方せん様式変更の影響, 日本薬学会第 127 年会, 講演要旨集 3, 29P2-am083, p. 205, 富山 (2007).
4. ○西順也, 麓伸太郎, 石井啓樹, 兒玉幸修, 中嶋幹郎, 佐々木均, 中村純三, 西田孝洋: Plasmid DNA 胃漿膜表面微量滴下による遺伝子発現の胃選択性向上に関する検討, 第 23 回日本 DDS 学会大会, Drug Delivery System, 22 (3), p. 313, 1-C-12, 熊本 (2007).
5. ○手嶋無限, 柏木香, 西田孝洋, 中村純三, 中嶋幹郎, 藤秀人, 一川暢宏, 佐々木均: Polyethyleneimine (PEI) 誘導体合成とその遺伝子導入ベクターとしての可能性の検討, 第 23 回日本 DDS 学会大会, Drug Delivery System, 22 (3), p. 365, 2-P-6, 熊本 (2007).
6. ○麓伸太郎, 古川広之, 兒玉幸修, 西順也, 中嶋幹郎, 佐々木均, 中村純三, 西田孝洋: 正常時及び肝障害時における plasmid DNA 肝臓表面投与法の安全性に関する検討, 第 23 回日本 DDS 学会大会, Drug Delivery System, 22 (3), p. 313, 2-P-18, 熊本 (2007).
7. ○西田孝洋, 和田光弘, 大脇裕一, 中村純三, 中島憲一郎: 地域薬剤師に対する実習や演習を主体とした卒後教育研修の試み, 医療薬学フォーラム 2007/第 15 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 講演要旨集 p. 239, 196, 山形 (2007).
8. 丸田 英徳, 西田孝洋, 鈴木 齊, 黒川 不二雄: 長崎大学における e ラーニングに対する予備調査 - “e ラーニング” への期待-, 平成 19 年度情報教育研究集会講演論文集, p. 91-93, 大阪 (2007).
9. ○西順也, 麓伸太郎, 石井啓樹, 兒玉幸修, 中嶋幹郎, 佐々木均, 中村純三, 西田孝洋: マウス胃漿膜表面からの plasmid DNA 取り込み機構の解析, 第 24 回日本薬学会九州支部大会, 講演要旨集, p. 10, 1A-04, 福岡 (2007).
10. ○石井啓樹, 麓伸太郎, 西順也, 兒玉幸修, 中嶋幹郎, 佐々木均, 中村純三, 西田孝洋: Plasmid DNA のラット胃漿膜表面滴下投与法による胃選択的な遺伝子導入, 第 24 回日本薬学会九州支部大会, 講演要旨集, p. 70, 1A-19, 福岡 (2007).

【研究費取得状況】

1. 抗癌薬や遺伝子の空間的・時間的分布を制御する肝臓表面適用製剤の開発；日本学術振興会科学研究費 基盤研究 (C)

【学会役員等】

1. 日本薬剤学会評議員
2. 日本薬学会九州支部 幹事
3. 日本薬学会代議員
4. 日本薬学会ファルマシア支部アドバイザー
5. 日本薬剤学会第 22 年会優秀発表賞選考委員
6. 第 24 回日本薬学会九州支部大会優秀発表賞選考委員

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	89 編	(邦文)	1 編
総説 (欧文)	4 編	(邦文)	3 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	3 編
紀要 (欧文)	1 編	(邦文)	10 編
特許	0 件		